資料８

「東海地域デジタルインフラ整備・活用推進協議会」第9回会合

農村地域における情報通信環境の整備について

令和８年10月

農林水産省東海農政局
農村振興部地域整備課

農業生産基盤情報通信環境整備事業

令和９年度予算概算要求額　1,004百万円（前年度 655百万円）

＜対策のポイント＞

農業者が減少する中、生産性の向上、生産コストの低減に向け、**農業水利施設等の管理の省力化・高度化**や**スマート農業の実装**を推進するとともに、**地域活性化を促進**するため、農村地域における**情報通信環境の整備**を支援します。

＜事業目標＞

情報通信環境の整備に取り組む地区（約100地区［令和11年度まで］）

＜事業の内容＞

１．計画策定事業

① 計画策定支援事業

情報通信環境に係る**調査、計画策定に係る取組**を支援します。また、**情報通信分野の知見を持つ人材を育成する取組**を支援します。

② 計画策定促進事業

事業を進める中で生じる諸課題の解決に向けたサポート、ノウハウの横展開等を行う**民間団体の活動**を支援します。

２．施設整備事業

① **農業水利施設等の管理の省力化・高度化やスマート農業の実装に必要な光ファイバ、無線基地局**等の**情報通信施設及び附帯設備の整備**を支援します。

② ①の情報通信施設を**地域活性化に有効活用するための附帯設備の整備**を支援します。

【実施要件】

・事業実施計画を策定していること（１、２の事業）

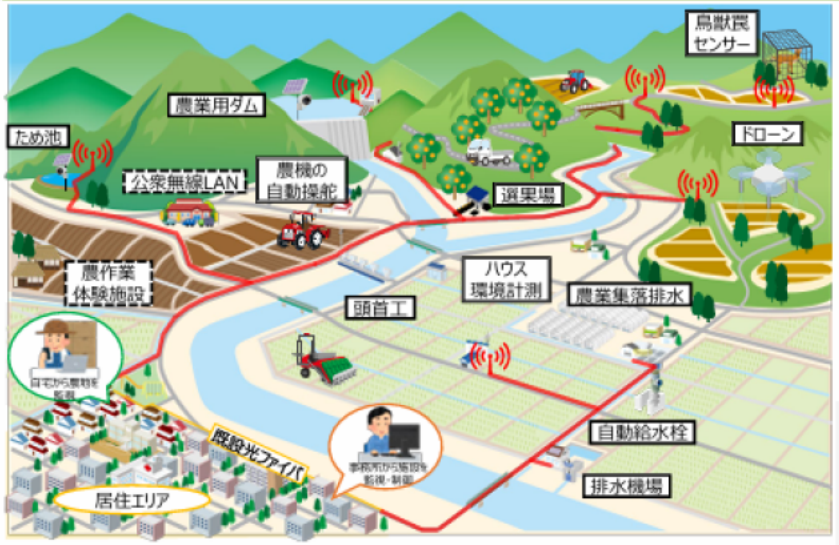
・総事業費200万円以上　等（２の事業）

＜事業の流れ＞

国 →（定額、1/2等）→ 都道府県（１①、２の事業）→ 市町村等（１①、２の事業）

国 →（定額）→ 民間団体（１②の事業）

＜事業イメージ＞



事業活用事例（A地区）



○ **計画策定支援事業を活用**し、地域一体となって事業を推進する**取組体制を構築。**

○ 国営事業による圃場整備と併せて、**無線基地局**を整備し、農機の自動操舵のための**RTK-GNSS基準局**、**自動給水栓等**を導入予定。

（情報通信施設の活用例）

- スマート農業の実装に関する利用
- 農業水利施設等の管理の省力化・高度化に関する利用
- 地域活性化に関する利用

①情報通信施設等



②附帯設備　（単独整備も可能）



［お問い合わせ先］　農村振興局地域整備課　（03-6744-2209）

農業農村情報通信
環境整備準備会

「ICT」で
農業が進む、農村が変わる。

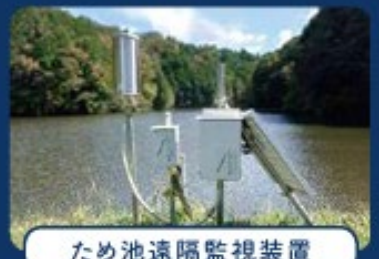
ICT(情報通信技術)を活かして、
農業農村や地域のお困りごとを解決できるかもしれません。
地域の皆様の情報通信環境整備に関する取組を、
「農業農村情報通信環境整備 準備会(事務局 農林水産省)」が
様々な形でサポートしていきます。

携帯電話サービスの届きにくい地域でも、目的に合った通信環境を整備することで、以下のような機器を設置・操作できます。



水田管理センサー

・圃場の見回りの省力化
・水管理の遠隔操作



ため池遠隔監視装置

・水位の遠隔監視
・水門開閉の遠隔操作



鳥獣罠センサー

・罠にかかると
スマートフォンに通知



環境モニタリングシステム

・栽培環境を数値管理化
・気温、湿度、土壌水分等の管理

『準備会』ではさまざまな情報・支援を行っています。ぜひご活用ください！



まずは情報収集

ホームページ

実際に情報通信環境整備に取り組んだ
地区の事例や関連するイベント開催情報・
資料の公開などを行っています。
ご入会いただくと、会員専用ページ限定の
資料・動画などが閲覧・ダウンロード可能です。
会員限定メールマガジンでも情報配信中。



より一層知識を深める

セミナー、研修会、講習会

情報通信環境整備の必要性や先進事例を紹介する
オンラインセミナーのほか、先進地域の現地視察会も開催。
（非会員も参加いただけます。）

情報通信に関する基礎知識の習得等を目的とする
ユーザー会員向けのオンライン研修会、
個別地区支援のノウハウの習得等を目的とする
サポート会員向けのオンライン講習会も開催。（会員限定）



地域課題に沿った、より手厚い支援

個別地区支援

地域課題を抱え事業化を検討している
ユーザー会員に対し、
サポート会員で編成された支援チームにより、
現地調査等を行いつつ、
ソリューションの提案等を行い、
事業化のための概略構想の策定を支援します。



事例紹介ページ



オンライン研修会の様子



自動走行農機の実演



現地調査の様子

ご入会の受付、お困りごとのご相談などお気軽にお問い合わせください！

ご入会の受付
お問い合わせ

事務局：農林水産省 農村振興局地域整備課
Email : nntsushin_jyunbikai@maff.go.jp TEL : 03-6744-2209

ホームページで
情報発信中！

https://nn-tsushin.jp/

農業農村情報通信環境整備準備会



ICTで解決できる
課題の選抜



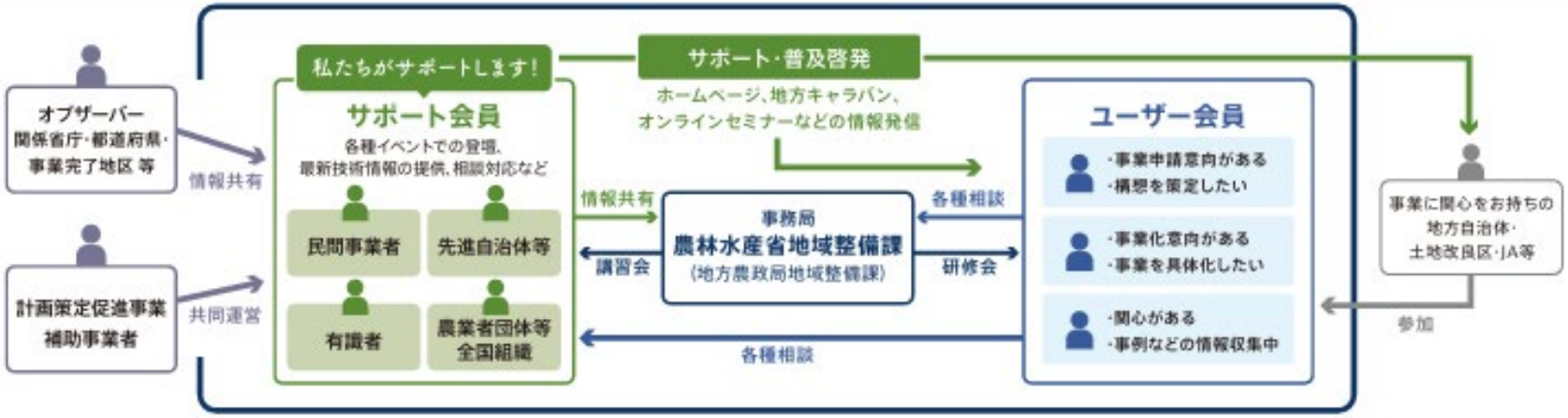
最適な
情報通信環境
の選択



スマート農業
技術の
マッチング

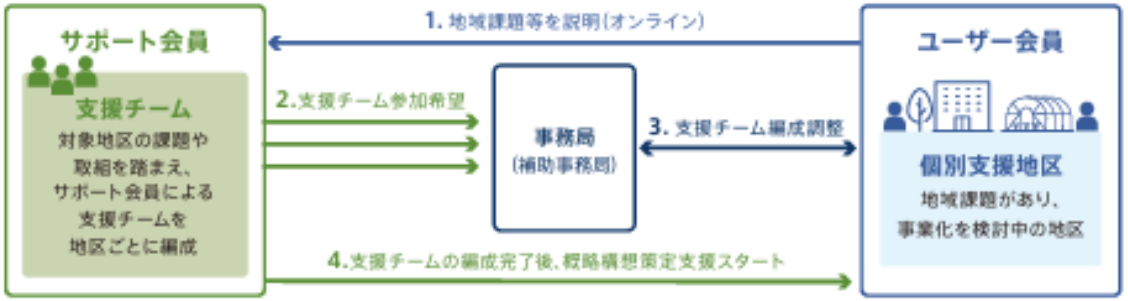
専門家集団の『サポート会員』と連携して支援します。

農林水産省が事務局となり、農業農村分野、情報通信分野の知見・実績を有する民間事業者や先進自治体等と連携し、農業農村における情報通信環境の整備のための技術的サポート等を行います。



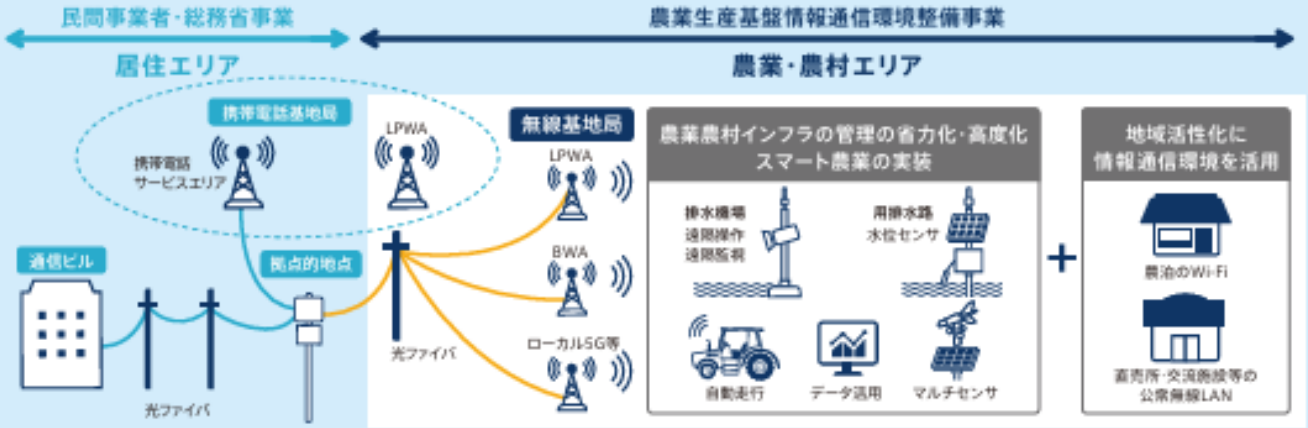
「個別地区支援」のご紹介

- 応募地区は地区概要や抱えている地域課題について、サポート会員向けに説明いただきます。(地区募集は年に1回)
- 説明会開催後、サポート会員に対しサポートチーム参加の募集(とりまとめ役1社、サポート役複数社(令和6年度平均8社))を行い、地域課題の解決のために自社の技術を提案できるサポート会員の応募によりサポートチームを編成します。
- 現地調査や打ち合わせ、検討結果を踏まえた地域課題の解決につながる技術提案、サポートチームのとりまとめ役が各社提案をとりまとめ、概略構想の策定を支援します。



「農業生産基盤情報通信環境整備事業」のご紹介

- 農業農村インフラの管理の省力化・高度化や、スマート農業の実装等に必要となる情報通信環境の整備について、調査・計画づくりから施設整備までを一体的に支援します。
- 最適な情報通信環境を構築するため、地域の条件を踏まえた通信技術を柔軟に組み合わせることが可能です。



ご入会の受付
お問い合わせ
事務局:農林水産省 農村振興局地域整備課
Email : nntsushin_jyunbikai@maff.go.jp TEL : 03-6744-2209

ホームページで
情報発信中!
https://nn-tsushin.jp/

個別地区支援の概要

※橙枠は被支援団体が主となる作業、青枠は支援チームが主となる作業

①個別地区支援への応募（５～６月頃）

（募集案内は農業農村情報通信環境整備準備会の会員メルマガ等にて発信予定）

②サポート会員への概要説明会（７月頃）

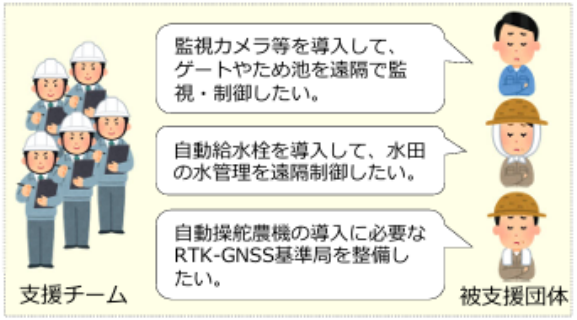
・地区概要や課題について、オンライン説明を実施。
・課題解決の知見を有する企業により支援チームを編成。

③現地調査・ヒアリング（８～10月頃）

・課題の詳細やICT化対象施設の位置関係等を把握するため、支援チームによる現地調査・ヒアリングを実施。



ICT化対象施設の調査（ダム）



ヒアリング内容のイメージ

④展示会（必要に応じて開催）

・ICT機器導入のイメージ形成を目的として、展示会を開催。
・展示機器は、サポート会員各社が取り扱う機器を持ち寄り。



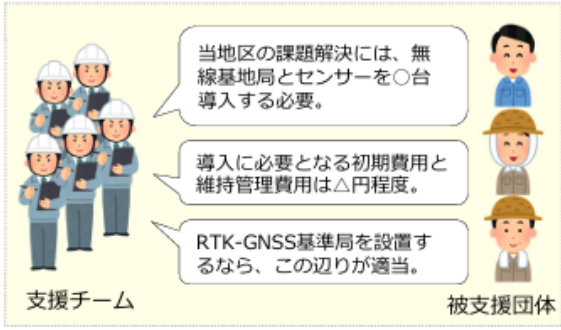
展示会の様子

⑤サポート会員による提案会（12月頃）

・現地調査・ヒアリングで得られた各種課題に対して、支援チーム各社から解決策を提案。



提案会の様子



提案内容のイメージ

⑥報告書の提出（２月頃）

・提案会における解決策を基に整理した報告書を被支援団体へ提出。
・農業生産基盤情報通信環境整備事業の申請書の作成支援等も実施。



機器構成の提案（報告書抜粋）



事業申請書の例

⑦農業生産基盤情報通信環境整備事業への申請

令和６年度までに個別地区支援を受けた55団体のうち、27団体が事業に移行（令和8年3月時点実績）。

【お問い合わせ先】

農林水産省東海農政局
農村振興部地域整備課
TEL：052-223-4630

- 東海農政局ホームページ
  https://www.maff.go.jp/tokai/
- 農業生産基盤情報通信環境整備事業ホームページ
  https://www.maff.go.jp/j/nousin/seibi/sogo/s_seibi/jouhou_tsuushin.html
- 農業農村情報通信環境整備準備会ホームページ
  https://nn-tsushin.jp/